

## 3 年理科「風やゴムで動かそう」

足立区立西新井小学校

### ■本時の目標

ゴムの力を働かせ物を動かす活動を通して、実験結果に基づき計画を立てたり改善をしたりすることができる。

### 本時の流れ

	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価
導入	1 本時の学習活動とめあてを確かめる。	○本時の学習活動とめあてを確かめ、本時の学習内容について見通しをもたせる。 <b>目的設定</b>
	<p>ゴムの力を働かせて車を思い通りの場所にとめるには、どうすればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思った通りに車をとめるには、どれくらいゴムを引いたら、どれだけ車が進むか調べたいな。</li> </ul>	○ゴムの力を利用して、どれだけ車が進むか調べる必要性をもたせるために、枠の中に車をとめるという場を設定する。
展開 1	<p>2 ゴムの伸ばし方によって、車の進み方がどのように違うか表に整理しながら記録を取る。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴムの力を車の動く距離の関係を、はかって調べよう。</li> <li>ゴムを少し伸ばしたときとたくさん伸ばした</li> </ul>	<p>○ゴムを伸ばしたときの体感も大切にしながら、ゴムの伸ばし方と車の進み方の関係を簡単な表にまとめるよう促す。</p> <p>○データを正確にするために、3回実験して、表に記録するよう助言する。</p>
展開 2	<p>3 取った記録をもとに、どのように車を進めたらよいかグループで作戦を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データを見ながら作戦を立てよう。</li> <li>枠までの距離は0mだから、0cmゴムを引くとよさそうだね。</li> </ul> <p>4 ゴムの働きを使って枠の中に車をとめる活動を行う。</p>	<p><b>改善・修正・試行錯誤</b></p> <p>○ゴムの伸ばし方について、グループで作戦を立てるなど、学習したことを生かして取り組めるよう、記録を活用するよう助言する。</p> <p>○作戦を立てる際、視覚的に操作しながら考えられるように車の動きに対応した記号を用意し、ボード上で操作できるようにする。</p>
まとめ	5 本時のめあてに対する振り返りを書く。	★ゴムを伸ばしたときの物の動く様子をデータにまとめ、それらを使って計画を立てたり改善したりしている。